

令和 2 年 1 0 月 1 2 日  
土木部 都市局 下水道課  
直通：029-301-4684

県内の下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度  
及び放射線量率の測定結果について

令和 2 年 7 月 から 9 月 にかけて 下記 の と お り 測定 を 行 い ま し た と こ ろ、この 期間 中 に 発生 し て い る 脱水 汚 泥 等 の 放射 能 濃 度 及 び 下 水 処 理 場 の 放射 線 量 率 は 前 回 と 同 程 度 の 数 値 で あ り、大 き な 変 動 は あ り ま せ ん で し た。

この こと から、現 在 発生 し て い る 脱水 汚 泥 等 に つ い て は、全 て の 処 理 場 で 処 分 で き て お り ま す。

記

	県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度	県下水処理場における放射線量率	公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度
対象処理場	県下水処理場 8 処理場	県下水処理場 8 処理場	7 市町 1 団体 10 処理場
測定日	令和 2 年 7 月 7 日 (火) から 9 月 8 日 (火)	令和 2 年 7 月 7 日 (火) から 9 月 17 日 (木)	令和 2 年 9 月 8 日 (火) 及び 9 月 10 日 (木)
測定機関	茨城県流域下水道事務所	各処理場	茨城県流域下水道事務所
測定機器	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器	NaI シンチレーションサーベイメータ (アロカ社製)	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器
測定高さ		地上 1 m	
結果	別添 表 1 の と お り	別添 表 2 の と お り	別添 表 3 の と お り

表 1 県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度

(単位：Bq/kg)

処理場名	試料名	今回公表値			前回公表値
		131 回目 (9/1～8)	130 回目 (8/4～12)	129 回目 (7/7, 8)	126～128 回目
		放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム
深芝処理場	脱水汚泥			不検出	不検出
	焼却灰	不検出	不検出	55	不検出
那珂久慈浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	160	130	150	93～190
霞ヶ浦浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	120	140	130	88～130
利根浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	85	85	110	62～86
潮来浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
きぬアクアステーション	脱水汚泥	不検出			不検出
さしまアクアステーション	脱水汚泥	不検出			不検出
小貝川東部浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射性ヨウ素(I-131)については半減期が短いこと(約 8 日), 県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定</li> <li>・放射性セシウム : Cs-134, Cs-137 の合計</li> <li>・括弧内は試料採取日</li> <li>・脱水汚泥は, 過去 3 ヶ月以上不検出の場合は 3 ヶ月に 1 回測定</li> <li>・指定廃棄物となる脱水汚泥等の放射能濃度は 8,000Bq/kg 超</li> </ul>					

表 2 県下水処理場における放射線量率

(単位：μSv/h)

処理場名	測定日 注1)	バック グラウ ンド注2)	敷地 境界 (風下)	事務室 (室内)	脱水機 管理室 (室内)	焼却炉 管理室 (室内)	焼却炉 注3)	市町村 線量注4)
深芝処理場	前回注5)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.042
	9/7	0.05	0.04	0.05	0.06	0.05	0.05	0.048
那珂久慈浄化センター	前回注5)	0.10	0.10	0.10	0.11	0.09	0.08	0.059
	7/7	0.08	0.07	0.08	0.09	0.08	0.07	0.056
	8/5	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.06	0.058
	9/8	0.09	0.09	0.10	0.09	0.09	0.08	0.059
霞ヶ浦浄化センター	前回注5)	0.09	0.09	0.08	0.09	0.10	0.08	0.055
	7/8	0.09	0.10	0.08	0.09	0.09	0.08	0.055
	8/13	0.09	0.10	0.09	0.08	0.10	0.08	0.056
	9/3	0.09	0.09	0.08	0.09	0.10	0.07	0.054
利根浄化センター	前回注5)	0.11	0.09	0.09	0.08	0.08	0.04	0.048
	9/17	0.12	0.09	0.09	0.08	0.08	0.04	0.048
潮来浄化センター	前回注5)	0.09	0.08	0.10	0.06			0.036
	9/10	0.08	0.07	0.08	0.06			0.037
きぬアクアステーション	前回注5)	0.07	0.08	0.08	0.08			0.050
	9/1	0.07	0.07	0.07	0.07			0.047
さしまアクアステーション	前回注5)	0.05	0.06	0.06	0.08			0.042
	9/1	0.06	0.05	0.05	0.08			0.044
小貝東部浄化センター	前回注5)	0.06	0.07	0.06	0.11			0.060
	9/1	0.07	0.06	0.06	0.10			0.062

注1) 指定廃棄物を保管している那珂久慈浄化センター及び霞ヶ浦浄化センターは月1回、それ以外の処理場は、3ヶ月に1回測定

注2) 汚泥処理施設から十分離れた地点

注3) 焼却施設から風下1mの地点

注4) 市町村線量は、各処理場所在市のモニタリングポストの測定データとした(測定日時：県測定日の9:00 原子力規制委員会ホームページ放射線モニタリング情報より)

※ 深芝処理場の前回の市町村線量は、機器修繕中でデータ欠損となっていたため、修繕前の11/5 9:00の値を掲載

さしまアクアステーションの9/1 9:00の市町村線量は、データ欠損のため、同日9:30の値を掲載

注5) 前回公表値は、令和2年4月から6月の測定結果の平均

表3 公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度

(単位：Bq/kg)

市町村名	処理場名	試料名	今回公表値	前回公表値
			102回目 (9/7～10)	101回目 (6/8～22)
			放射性セシウム	放射性セシウム
水戸市	水戸市浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
	内原浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
日立市	池の川処理場	脱水汚泥	不検出	不検出
北茨城市	浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
笠間市	浄化センターともべ	脱水汚泥	不検出	不検出
	浄化センターいわま	脱水汚泥	不検出	不検出
ひたちなか市	下水浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
茨城町	茨城町浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
城里町	かつら水処理センター	脱水汚泥	-	-
日立・高萩広域 下水道組合	伊師浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出

・放射性ヨウ素(I-131)については半減期が短いこと(約8日)、県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定

・放射性セシウム：Cs-134, Cs-137の合計

・括弧内は試料採取日

・原則として3ヶ月に1回測定

・かつら水処理センターは、令和元年台風19号による処理場の浸水害に伴い汚泥処理を停止しているため、測定なし

・指定廃棄物となる脱水汚泥の放射能濃度は8,000Bq/kg超